

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人 大阪府国際交流財団
-----	------------------

〔1〕

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
外国人情報コーナーの相談件数	件	2,800	2,594	△ 206

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）				要因分析を踏まえた今後の対応	
①	カウント方法が変更されたため			・これまで外国人情報コーナーの相談件数は、入管庁の定めるカウント方法を採用してきたが、R7年度からカウント方法が変更となった。具体的には、R6年度までは、相談者1名の相談内容が複数案件に及んだ場合、相談内容ごとに相談件数としてカウントしていたが、R7年度からは、相談者1名の相談内容が複数案件にわたっても、1件とカウントするように変更された。その結果、相談件数が従前より積みあがらず、目標未達成となった。 なお、カウント方法が変更されたことで相談件数としては減ったものの、相談者数は昨年度と比較し約13%増加し2,501人に、また専門相談の件数は214件と、昨年度と比較し77%増加した。さらに、相談時間が30分以上に及んだ相談者は491人と、昨年度と比較して約2%増加し、全体の約20%を占めている。以上より、情報提供を求めたり、相談したいことのある外国人は増加傾向にあるとともに、専門的あるいは複雑な悩み事を抱える外国人も多いと考えられる。				・ホームページやSNS、紙媒体のチラシ等を活用して、在住外国人向けに外国人情報コーナーを広く知らしめると共に、行政窓口の担当者向けに情報コーナーの活用方法の周知を徹底する。 ・オンラインの活用も含めて、専門家に相談することができる機会を増やすよう努める。 ・丁寧なインテークを心がけるとともに、積極的な研修等の機会を創出して、相談対応者の一層のスキルアップを図るよう努める。	
	関連項目名	—	単位	—	R7当初想定値	—	R7実績値	—	差

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人 大阪府国際交流財団
-----	------------------

〔2〕

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
ホームページ(SNS含む)アクセス数	件	120,000	99,988	△ 20,012

未達成の要因					要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	SNSの新着情報の掲載件数の不足				・多様なSNSにタイムリーな新着情報、508件（各営業日に2件、昨年度366件の約1.4倍）の更新をめざしたが、想定通りの掲載ができなかった。						・SNSの更新にあたり、各営業日に2件ずつを確保するとともに、ホームページへのリンク性を高めるよう工夫する。 ・SNSの新着情報の更新にあたり、写真や画像等をより一層工夫して、インパクトを与える、興味を誘因する内容となるように努める。 ・ホームページの魅力化も含めて、SNSと併せた総合的なWeb広報の方途を、検討し実施していく。
	関連項目名	SNSの新着情報の掲載件数	単位	件	R7当初想定値	508	R7実績値	447	差	△ 61	
②	SNS発信におけるインパクトの不足				・SNSの新着情報一件あたりの平均閲覧数は、113件と昨年度の99件から増加したものの、想定よりは下回った。 ・SNSの閲覧数は、50,553件と昨年度36,192件から40%増加しているが、ホームページの閲覧数は、49,435件と昨年度47,596件から4%の増加にとどまった。 ・SNSの新着情報に連動して閲覧数も増加しているものの、それがホームページへの遷移につなげられていない状況であることから、ホームページからより詳細な情報を獲得したいと思わせることができていないと考えられる。						
	関連項目名	—	単位	—	R7当初想定値	—	R7実績値	—	差	—	

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人 大阪府国際交流財団
-----	------------------

[3]

成果測定指標	単位	R 7 年度目標値	R 7 年度実績値	目標値との差
留学生会館入居率(年平均) ※ウクライナ避難留学生受入枠を含めて算出	%	85.0	84.2	△ 0.8

未達成の要因					要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応	
①	期中退去者の発生による空室を埋めることができなかったため				期初は入居率90%超でのスタートしたものの、期中の退去者により空室が生じた。空室を埋める努力をしたものの期中での入居ニーズが低調で苦戦し目標に届かなかった。					 R8年度もR7年度に引き続き入寮者の在籍校数増に努める。特に期中の空室発生を予め想定し、早期から近隣大学へのアプローチを強化する。	
	関連項目名	—	単位	—	R7当初想定値	—	R7実績値	—	差		